

ダンパーのヒューズ交換手順



ヒューズが落ちた状態です



硬い場合は工具を使用して下さい



ヒューズホルダーを抜きます



溶けたヒューズをとる



新しいヒューズを差し込む



下向きにして押さえ込む

(緊急処置)



ピンを引っ掛ける



ホルダーをねじ込みフックを
かけて完成です。
あとは使用状況の風量調整に
合わせてください



ヒューズが無い場合は緊急処置
としてホルダーを抜きスプーン
などでフックに引っ掛けます
可燃物は避けてください
至急ヒューズを取り寄せます

通常使用でヒューズが溶けることはありません。排気ファンのベルトの緩み、羽根に油脂付着など能力低下が考えられます。排気ファンの点検清掃を依頼してください。安全のため温度ヒューズは毎年1回以上交換して下さい。

ダンパー 402 のヒューズ交換手順



ヒューズが落ちた状態です



硬い場合は工具を使用して下さい



ヒューズホルダーを抜きます



溶けたヒューズをとる



新しいヒューズを差し込み
上部の輪に差し込む



下向きにしてキャップを
止まるまで締め込む



ヒューズホルダーが入るように
レバーを上げる



ヒューズホルダーを最後まで
ねじ込んで完成です。
あとは使用状況の風量調整に
合わせてください

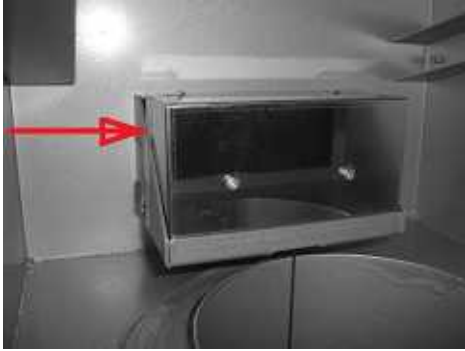


**ヒューズが無い場合は緊急処置
としてホルダーを抜きスプーン
などでフックに引っ掛けます
可燃物は避けてください
至急ヒューズを取り寄せます**

通常使用でヒューズが溶けることはありません。排気ファンのベルトの緩み、羽根に油脂付着など能力低下が考えられます。排気ファンの点検清掃を依頼してください。安全のため温度ヒューズは、年1回以上交換して下さい。

スリムトップ・昇降ユニット交換手順

(カッター、スパナ 7mm、ウエスを用意する)



バネボックスのテープもしくはコーキングを外す



ワイヤー先端のナットを外し古いバネボックスを取り除きます



新しいバネボックスを台座にはめ込みます



付属のチェーンを筒へたらしめます



フックをバネの金具に引っ掛ける



中間フックをフード下部に引っ掛ける
チェーンを離すとバネが破損しますので十分に注意し手から放さない



ワイヤーの金具をビスに挿して締める

チェーンを外して終了です。

スリムトップ用照明器具の取り付け方

注 意

消防署の見解により可燃物とみなされます。

H調理器具以外の熱源器具では使用出来ません。



クリップライトのアーム部は大変弛み易く吸い込みグリルより垂れて
しまいますので定期的にコイン2枚で矢印部を締めて固定して下さい

昇降式の場合は可動分だけコードを弛ませてください。



コードステッカー取り付け例

スリムトップの定期清掃手引き

火災予防のため定期的にスリムトップ内部の清掃を行って下さい

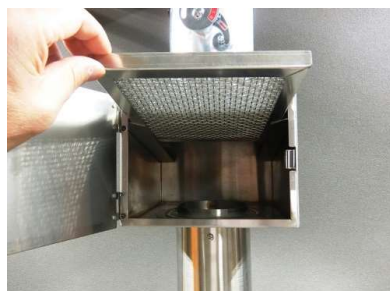


蝶ナットを弛めると伸縮します



油掻きとり部

清掃前の準備	排気ファンが停止しているか確認する テーブルの上に新聞紙等を敷いて養生をする 軍手等のグローブを着用する
--------	--



グリスフィルターを抜き取る



吸い込みグリルを外す



蝶ナットを弛めて本体を外す
本体が落下しないように注意する



このビスは外さない
(外すと組み立てが困難のため)



外した本体をたてて清掃棒で
油脂を掻き出す



本体を逆さにして油脂を掻き出す



最後にボックス内と筒内部を
キッチンペーパー等で拭き取る

防火ダンパーのヒューズに油がこびり付いている場合はダンパーヒューズをヒューズ交換手順を参考に交換して下さい。(HPよりDLLして下さい)
ダンパーヒューズは弊社HPより注文いただけます。(年1回の交換を推奨)

お疲れ様でした。

元の取り付けしていた場所に取り付けます。

火災予防のため定期的に清掃して下さい。

ダクト内の清掃は専門業者へ依頼して下さい。

スリムトップの保守・点検・清掃

注 意

- ◎ 点検、清掃のときは、必ず排気ファンの電源をきってからおこなってください。
清掃具などを吸込んで故障の原因となります。
- ◎ 吸込みグリル、グリスフィルターを取外し取付けるときは、必ず手袋などを着用してください。手などを切る原因になります。
- ◎ 昇降式の場合は、強く上下しますと破損し落下のおそれがありますので注意してください。

【 吸込みグリルの清掃 】



注意：吸込みグリルは両手で脱着する。

- ☆ 吸込みグリルは**毎日清掃**して下さい。

【 グリスフィルターの清掃 】



注意：排気ファンが停止して作業する。

- ☆ グリスフィルターは**毎日清掃**して下さい。

筒内部、ボックス内の定期清掃について

----- 1週間または本体内部より油垂れがした場合にはします-----

- ☆ 本製品の筒ダクト部の清掃は清掃用掻き出し工具で油脂を拭取ります。掻き出し工具、清掃マニュアルは購入時、又は工事竣工時にお渡します。筒内部には突起物がありますので決して手や指を差込んで清掃しないでください。ケガの原因になります。
- ☆ グリスフィルターボックス内に油が溜まりましたらキッチンペーパーなどで拭取ってください。
- ☆ 本製品の汚れを落とす場合は、中性洗剤で柔らかい布を使って拭き取るようにしてください。塗装タイプのスリムトップはシンナー・ベンジンなど揮発性のもので清掃しないでください。火災の原因や焼付けタイプの塗装が変色や剥離の原因になります。